

TOMIYA UNESCO NEWS LETTER

令和6年度 第1号 ユネスコ企画部発行 2024年7月



令和6年度 T-time 生徒課題研究発表会「持続可能な地域とまちづくり」



収穫祭



4月20日(土)に29回収穫祭(課題研究発表会)が実施され、昨年度3月に行われた予選において代表となった10グループが発表を行いました。「持続可能な地域とまちづくり」をテーマにした課題研究の成果を示す集大成の場となりました。今年度は、PTA総会と同日開催となり、多くの保護者の皆様にもご来場いただきました。

生徒たちは、地域の抱える課題に対して、実際の行政組織に見立てた『仮想市役所』を高校内に立ち上げ、自分の部署の抱える課題に向き合いました。研究過程では、多くのデータを収集・分析しながら、様々な視点でアプローチして解決策を模索してきました。収穫祭では、どの班の発表も、現状の分析が丁寧になされ、根拠を明確に示した上で解決策が提案されていました。審査委員長の宮城大学事業構想学群准教授の石内鉄平先生をはじめとする7名の審査員の先生方を迎え、緊張感のあるプレゼンテーションとなりましたが、審査委員による質疑にも、しっかりと答えることができていました。

審査員による審査の結果、以下の3つのグループが入賞しました。入賞者には賞状に加えて、富谷市から副賞も授与されました。また、生徒と教職員による投票で特別賞が決定し、保健福祉部1班が第1位(持続可能なまちづくり大賞)と特別賞のダブル受賞をしました。



最終順位一覧

順位	班	研究テーマ	関連部署
1位 特別賞	D1	幅広い年齢層に健康への関心を高める～健康維持に向けて～	保健福祉部
2位	E15	富谷の特産品や新たに発掘した食材で人気が出るスイーツを開発する!	経済産業部2
3位	C3	とみくると資源循環型のまちづくり作戦!	市民生活部

代表班テーマ一覧

班	研究テーマ	分野
C3	とみくると資源循環型のまちづくり作戦!	市民
G3	富谷市の小学生の自己肯定感を上げていじめを減らそう	教育
E15	富谷の特産品や新たに発掘した食材で人気が出るスイーツを開発する!	経産2
A1	市民バスで住みよいまちへ	企画
D1	幅広い年齢層に健康への関心を高める～健康維持に向けて～	保健
E14	若い世代をターゲットとした特産品である蜂蜜を利用した美容製品を提案する	経産2
B2	これからもっと富谷市の女性が働きやすいまちにしていけるための改善策を考える	総務
F6	森林の活用と保全	建設
D7	産院の集約化と支援制度の充実	保健
E3	シティブランドの認知度は人口増加につながるのか～私たちの富谷市拡大プラン～	経産1

入賞者の声

▽自分たちが半年間調べたり、試作を作ったりと頑張ってきた成果を生徒、先生、審査員に伝えよう!という気持ちで発表することができ、緊張せず楽しむことができました。また敗者復活から2位まで駆け上ることができて諦めず、最後まで全力でやってよかったという気持ちになりました。

▽何度も話し合いや発表練習を重ねていたので本番でも落ち着いて発表できた。自分達の研究が少しでも沢山の人の響いてほしいという気持ちを込めながら最高の発表ができた。

実りのある収穫祭となりました。3年生の皆さん、お疲れ様でした

IZUMI 未来構想フェスティバル

5月11日(土)に isME! おへそ広場で開催された『IZUMI 未来構想フェスティバル』に、収穫祭で入賞した 3 チームが参加しました。泉中央周辺のまちづくりについてディスカッションやプレゼンテーションが行われるイベントで、本校の他、仙台商業高校、泉館山高校の代表者も参加していました。本校の生徒は収穫祭と同様に富谷市の課題や今後の発展に向けた展望について研究した成果を発表し、多くの聴衆の中で素晴らしいプレゼンテーションを見せてくれました。



参加者の声

▽地域に関わらず沢山の方に自分達の研究成果を発表できたことは自分にとって良い経験となり、自信に繋がった。

▽富谷高校以外の高校生や観客の方々にも私たちの発表を聞いてもらい、富谷の課題や提案を伝えることができた。また他の高校の考えを聞いて学ぶことや共感する部分が多く富谷以外の地域についてもより詳しく知ることができた。話し合いとかではないが他校と交流することができたため良い機会になった。

“届けよう、服のチカラ”プロジェクト

6月20日(木)に UNIQLO 仙台泉店店長・宇杉正先生を講師にお招きして、服のチカラプロジェクトの説明を拝聴し、難民問題や SDGs の 17 のゴールについて考えました。難民とはどういう状態なのか、世界では何が起っていて、私たちができることは何なのか、身近なところから考えるきっかけになりました。

